

EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries

EFAFF2003 (第4回 農林水産環境展)

「人と自然の共生を目指して」をテーマに
2003年11月25日(火)から28日(金)の4日間、
日本コンベンションセンター(幕張メッセ)にて開催

農林水産環境展実行委員会(委員長:今村 奈良臣 東京大学 名誉教授)は、2003年11月25日(火)から28日(金)の4日間、日本コンベンションセンター(幕張メッセ)において「EFAFF2003(第4回 農林水産環境展)」を開催します。

本展示会は「人と自然との共生を目指して」をテーマに今年で4回目を迎え、環境保全を目的とした農業、畜産業、林業、水産業、食品工業、および農村振興の各分野での様々な取り組みを紹介する展示を行っており、関係各方面から高い評価を得ていると同時に、来場者数も年々着実に増加しています。本年度も昨年に引き続き、出展者と来場者を的確に結びつけることができるように、「集落排水」、「畜産環境」、「有機資源」、「間伐材」、「海岸水産環境」および「環境保全型農業」の6分野に分け、それぞれ独立した“フェア”の集合体として開催します。

昨年12月、農林水産省、環境省を始めとする5省の連携によって、地球温暖化の防止や循環化社会の形成を目指し、「バイオマス・ニッポン総合戦略」が策定される一方、2005年3月から半年に渡って開催される。2005年日本国際博覧会(通称:愛知万博)会場でのバイオマスの導入計画が検討されるなど、バイオマスの将来的な利活用への注目が急速に高まってきております。本展示会では昨今、石油、石炭などの化石資源に代わる新しいエネルギー資源として注目されているこの「バイオマス(有機性資源)の利用推進」に関して、特別企画コーナーにおいて「バイオマスプレゼンテーションステージ」を設置し、関連機器メーカーやコンポスト堆肥・飼料の生産者とそのユーザーによるステージ発表などを行います。また、併催催事の「第4回農林水産環境シンポジウム」においても「バイオマス・ニッポン総合戦略によるバイオマス利用の推進に向けて Part2」と題した基調講演を予定しています。「EFAFF2003(第4回 農林水産環境展)」は、このような展示やシンポジウムプログラムを通じ、「バイオマス・ニッポン」実現に向けた活動を支援します。

『EFAFF 2003』開催概要

- ◆ **名称** : EFAFF 2003 (第4回農林水産環境展)
EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries
- ◆ **開催日** : 2003年11月25日(火)～28日(金) 午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時まで)
- ◆ **会場** : 日本コンベンションセンター(幕張メッセ)国際展示場 展示ホール7
(千葉県美浜区中瀬2-1 TEL: 043-296-0001)
- ◆ **主催** : 農林水産環境展実行委員会
 委員長 東京大学 名誉教授 今村 奈良臣
 委員 (財)農業技術協会 会長 芹澤 利彰
 (社)日本農業集落排水協会 理事長 黒澤 正敬
 (財)畜産環境整備機構 理事長 本田 浩次
 全国森林組合連合会 代表理事会長 飯塚 昌男
 (社)海と渚環境美化推進機構 理事長 植村 正治
 (社)日本有機資源協会 会長 熊澤 喜久雄
 事務局 (株)環境新聞社 社長 波田 幸夫
- ◆ **テーマ** : 人と自然との共生を目指して
- ◆ **後援** : 農林水産省／環境省／国土交通省／経済産業省／全国知事会／全国市長会
／全国町村会／環境事業団／千葉県／
社団法人千葉県商工会議所連合会／千葉商工会議所
- ◆ **入場料** : 一般 1,000円／学生 500円(高校・大学)／団体 800円(10名以上)
- ◆ **同時開催** : ウェステック2003(主催:ウェステック実行委員会)
河川環境展2003(主催:河川環境展実行委員会)

EFAFF2003 展示フェア分野

EFAFF2003(第4回農林水産環境展)					
集落排水フェア	畜産環境フェア	有機資源フェア	間伐材フェア	海岸水産環境 フェア	環境保全型 農業フェア
汚水処理設備・装置	バイオガスエネルギー利用	コンポスト化装置	木材炭化装置	水産加工場廃水 処理装置	無農薬・減農薬 栽培
汚泥リサイクル化 設備・装置	メタン醗酵装置	生分解性プラスチック	チップの有効 利用	低質・水質改善 剤	有機栽培
消毒装置	家畜糞尿処理装 置	脱臭装置	間伐材の有 効利用製品	殺菌装置	微生物農薬・資 材
他	他	他	他	他	他

特別企画コーナーのご案内

◆ グリーンプラコーナー 【主催：生分解性プラスチック研究会】

“グリーンプラ認証マーク”を取得した各種グリーンプラ*製品を各社が展示します。

*グリーンプラ：自然環境において微生物が作用し、低分子化合物に分解される生分解性プラスチック

◆ 間伐・間伐材利用コンクール作品展示 【協賛：全国森林組合連合会】

国土や水環境の保全、地球温暖化の防止のために森林の多様な役割を発揮するためには、間伐の推進が重要です。また「グリーン購入」の観点からも「間伐材利用製品」に対する関心が高まっています。当コーナーにおいて「間伐・間伐材利用コンクール（主催：間伐材推進中央協議会）」に応募された、間伐材利用のアイディア製品を中心に展示します。

◆ NPO・研究会など 交流コーナー

人と農山漁村との共存を目指し、農林水産における環境保全を実現するには、機器・装置メーカーによる設備の導入による対策だけでなく、NGOやNPOなどの草の根的な団体や研究グループによる取り組みが欠かせません。そのため本年度は、企業による機器や技術の展示だけではなく、農林水産業の環境保全分野で地に根ざした活動を行う団体の方々のPRと情報交換の場を設けます。

◆ 大学展示コーナー

農林水産環境の分野では、バイオマスの利活用といった、産業と大学が一体となった研究開発の取り組みが重要になってきております。そのため本年度は、農林水産業関係の各大学での環境保全に関する研究などの成果を紹介すると共に、研究者と来場される方々との交流や情報交換をする場を設置します。

◆ バイオマスプレゼンテーションステージ

バイオマス利用に関する機器メーカーやコンポスト堆肥・飼料の生産者とそのユーザーによるステージ発表を行います。

発表企業／団体(五十音順)	内 容
(株)アースクリーン	処理コストで考える有機物分解処理システム 処理コスト、100分の1以下の生ゴミ処理
(有)イー・エス・アイ	地域・農業の特性を活かしたバイオマス事業
オリオン機械(株)	オリオングループの畜産環境へのチャレンジ
霧島高原ビール(株)	鹿児島空港における生ゴミ飼料化の現状
グリーンライフコミュニティ／ ジュオンメディカルシステムズ	バイオマス燃料製造などによる森林保全・再生 プラン
京葉プラントエンジニアリング(株)	バイオトレース（発酵をモニターする技術）
コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	実稼働バイオガス発電プラントの紹介
(株)サンルート	発酵・微生物を使った植物活性液の効果
正和電工(株)	バイオトイレは時代が求めた糞尿処理機構です。
(株)トーカン	連続式炭化装置による木酢液と木炭の製造
醗酵インベンション(株)	畜糞尿ベースの有機肥料化装置－1日発酵－
有機性廃棄物再資源化研究会	世界初20時間以内有機肥料システム完成

▼ステージでの発表スケジュールに関しましては

EFAFF2003ホームページ(<http://www.emn.jp/efaffex/biomass2003.html>)をご覧ください。

【併催催事】第4回農林水産環境シンポジウム

<主 催> 農林水産環境展実行委員会

<開催日> 2003年11月25日（火）～28日（金）

<会 場> 日本コンベンションセンター（幕張メッセ）国際会議場

月 日	会 場	プログラム
11/25 (火)	国際会議室 (10時～16時)	「平成15年度農業土木学会資源循環研究部会研究発表会」 主催：(社)農業土木学会 資源循環研究会
	302会議室 (10時～17時)	「農林水産分野に広がるグリーンプラ（バイオマスプラスチック）」 主催：生分解性プラスチック研究会／農林水産環境展実行委員会
	302会議室 (13時～17時)	「農畜水産が一体となった環境保全」 主催：社団法人海と渚環境美化推進機構
11/26 (水)	302会議室 (10時～ 16時30分)	「有機性資源グリーンフォーラム」 主催：(社)日本有機資源協会
11/27 (木)	コンベンションホールB (10時～16時)	「平成15年度持続性の高い農業生産方式に関する技術研修会 ー土づくりと施肥の基本技術と今後の展開について」 主催：全国環境保全型農業推進会議（事務局：農林水産省、 全国農業協同組合中央会、日本生活協同組合連合会）
	302会議室 (13時～16時)	「家畜ふん尿における炭化・燃焼方式の現状と展望」 主催：農林水産環境展実行委員会
11/28 (金)	302会議室 (10時～16時)	『バイオマイス・ニッポン総合戦略によるバイオマス利用の推進に 向けてPart2』 主催：農林水産環境展実行委員会

本件に関するお問い合わせ

「農林水産環境展実行委員会事務局」

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル 株式会社 環境新聞社 事業部

TEL：03-3359-5349 FAX：03-3359-7250

担当：小保方（090-3917-6064）

E-mail: obokatak@kankyo-news.co.jp

URL=http://www.emn.jp/efaff/